

旭ヶ丘キリストの教会
主日礼拝順序
2025年5月18日

司会：千田俊昭
奏楽：千田祥子

黙 祷		一 同
讃 美※	讃美歌228「ガリラヤの風」	一 同
主の祈り※	(聖歌表扉または讃美歌564番をご覧ください)	
讃 美	讃美歌368「つとめいそしめ」	一 同
教会学校	紙芝居「イエス様のための旅」	牧 師
讃 美	讃美歌520「静けき河の岸边に」	一 同
聖書朗読	イザヤ1:1-5	
奨 励	イザヤ書の福音(第1回)	牧 師
主 題	「神による招き」	
讃 美	讃美歌517「我に来よと主は今」	一 同
献 金	献金と感謝の祈り	
聖 餐		
頌 栄※	讃美歌543「主イエスの恵よ」	一 同
祝 祷※		牧 師
来週の箇所	イザヤ書第2～6章	

※印のところでは御起立下さい。

- ☆ はじめて集会においでの皆様。心から喜び、感謝してお迎え申し上げます。しかし、初めての方に無理な勧誘をするようなことは、一切いたしません。むしろ、そっとしておきたいと思うわけです。その態度を冷淡や不親切と誤解なさらないで下さい。
- ☆ 私たちは何派にも属さないクリスチャン個人の自由な交わりの教会です。聖書を学び、キリストに信頼し、キリストが与えてくださる神の義を何より大事にし、信じる者同志が兄弟姉妹として受け入れ合う群れです。
- ☆ 献金は神への感謝として、各自が自由意志で行うものです(2コリント9:7)。入り口に献金箱がありますので、どうぞご利用下さい。
- ☆ キリスト教について、あるいはどんな質問でも、いつでも遠慮なく牧師にご相談下さい。
- ☆ 第二礼拝後、軽食を用意しておりますので、お時間のある方はどなたでも、ご自由にお召し上がり下さい。
- ☆ 二階に教会図書がありますので、どうぞご利用下さい。

旭ヶ丘キリストの教会 ニュース



【今週の歩み】

5/18(日)聖日礼拝
/19(月)
/20(火)
/21(水)
/22(木)10:祈会 13:ビレッジ集会
/23(金)
/24(土)13-16子供オプンハウス



【祈りの課題】

- ① 家族の救いのために
- ② 礼拝に来れなかった人々のために
- ③ 教会学校の子供たちが救われますように

良書ハイライト

「イザヤ書は聖書の縮図」

(内村鑑三「イザヤ書註解」より)

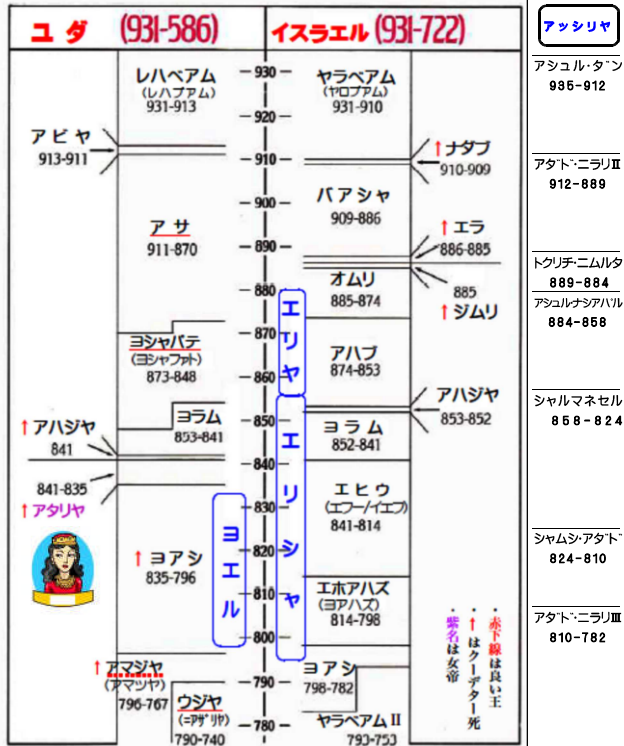
① 聖書は世界最大の書であって、イザヤ書は最大の聖書である。もしロマ書が聖書の中心であるならば、イザヤ書はその本体である。旧約聖書はイザヤ書においてその絶頂に達し、新約聖書はその源をイザヤ書において発している。イザヤ書を知らずして聖書は分らない。旧約と新約とはその中にある。モーセの律法とキリストの福音とはイザヤ書において合体する。イザヤ書は全聖書を縮めたる書と見て間違いはない。

② 聖書は66巻より成り、イザヤ書は66章よりなる。巻と章とがその数において一致するは不思議である。その点においてイザヤ書は聖書の縮写なりと言って間違いはない。しかし一致はここにとどまらない。イザヤ書は明白に前後の二篇に区分せらる。初めの39章が前篇であって、終わりの27章が後篇である。そして後篇の27章は新約の27巻に当たる。これまた不思議の一致である。その意味においてイザヤ書は聖書の縮図である。しかるに一致はこれ以上である。イザヤ書の前篇は、人の神に対する義を教えて律法の書である。後篇は、神の人に対する義すなわち恩恵を伝えて福音の書である。かくの如くにして、イザヤ書そのものの中に旧約聖書と新約聖書とがある。モーセの律法とキリストの福音とがある。その意味においてもまたイザヤ書は旧新両約聖書の縮写である。その構造において、その内容において、イザヤ書は小聖書である。

③ 新約聖書の宗教たるキリスト教は主としてイザヤ書によって起こったものである。イエスは旧約に精通したもうたが、特にイザヤ書を愛したもうたことは明かである。彼が「聖書」と言いたまひし場合は、たいていはイザヤ書をさして言いたもうたのである。例えばマタイ26章54節において、「かくあるべきことを記しし聖書にいかでかなわんや」と彼が言い給ひしは、イザヤ書53章をさして言いたもうたのである。すなわち、マタイ26章45節にいうところの、「人の子、罪人の手に渡されん」とのことであって、これはイザヤ書53章所載の預言にかなわせんがためなりとのことである。

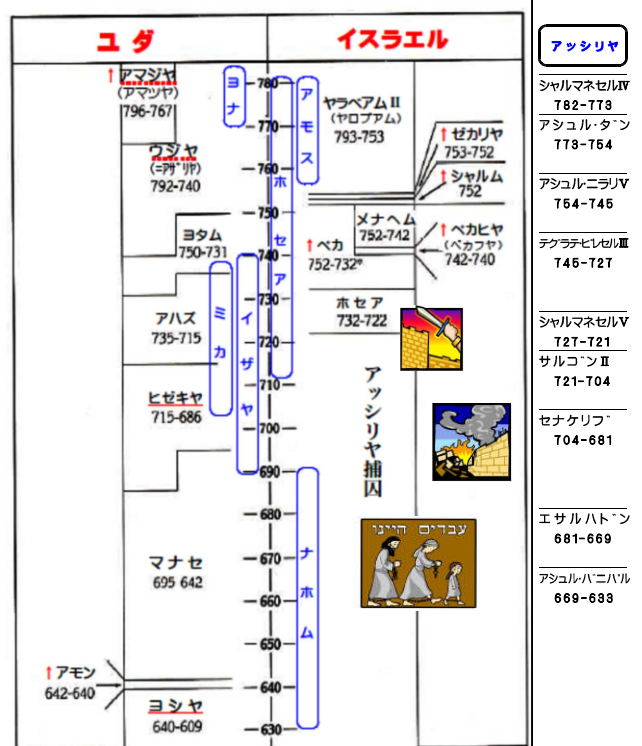
④ …人はその理想を知らずして知るあたわず。イザヤ書を知らずして、主イエス・キリストを知るあたわず。イエスが精神を込めて読みたまいしイザヤ書、彼に神の受膏者たるの理想を供せしイザヤ書、彼の生命の血たり肉たりしイザヤ書、この書を解せずしてイエスは分らない。

南北朝時代のイスラエル①



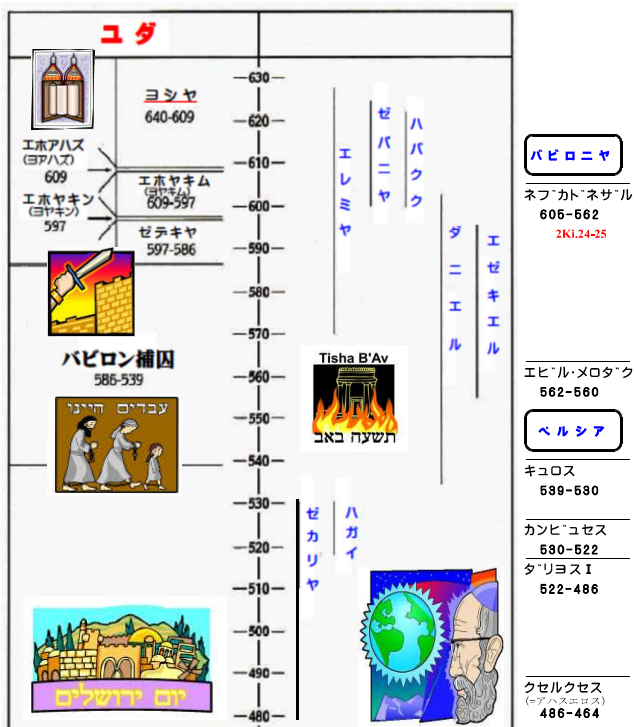
- 1 -

南北朝時代のイスラエル②



- 2 -

南北朝時代のイスラエル③



- 3 -

ペルシア王	在位	聖書関係事項	ギリシア
クロス (=キュロス)	539-530	ゼラバベルとヨシヤの帰還(エズラ 1-3)	
カンビュセス	530-522	エルサレム再建中止(エズラ 4)	
ダリヨスⅠ (=ダレイオス)	522-486	520ハガイとゼカリヤの預言 516神殿完成(エズラ 5.6)	490マラトンの戦い(ギリシアがペルシアに勝利)
クセルクセス (=アハスエロス)	486-464	エステル (エステル 1-9)	ギリシアがペルシアに勝利 480 テルモピレの戦い 479サラミスの戦い
アルタクセルクセスⅠ (=アルタシャスタⅠ)	465-424	458エズラ帰還(エズラ 7-10) 445ネヘミヤ帰還(ネヘ 1-2) 433マラキの預言	461-431アテネの黄金時代 460-429ペリクレス アテネの支配
ダリヨスⅡ	424-405	正典聖書に記事のない時代	431-404ペロポネソス戦争 404アテネ陥落 スパルタの支配
アルタクセルクセスⅡ	405-359		470-399ソクラテス 428-348プラトン 384-322アリストテレス
アルタクセルクセスⅢ	359-338		338カイロネアの戦い (マケドニアのピロⅡがギリシアに勝利)
アルセス	338-335		
ダリヨスⅢ	335-331		アレクサンダー大王がペルシア帝国を倒す
アレクサンダー	336-323		ギリシア帝国成立

- 4 -